

油圧プレス 20トン 手動メーター付

取扱説明書

【品番】UPA-20H

この度は「油圧プレス 20トン 手動 メーター付 (UPA-20H)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3


(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

 警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
--	--

■製品使用上のご注意

警告

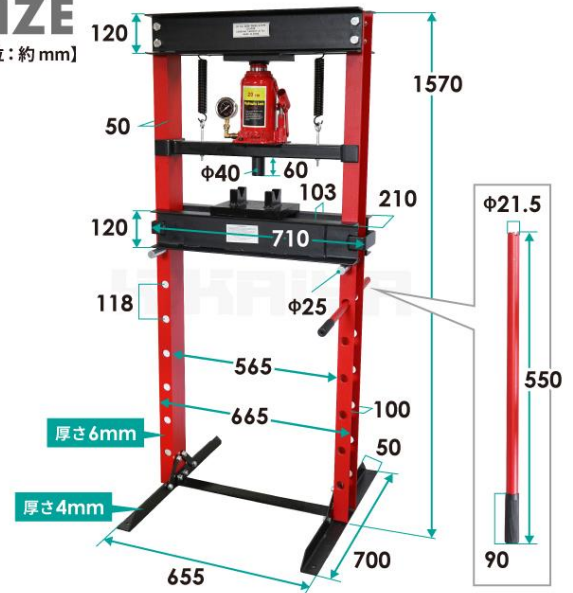
- 使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますのではさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください。
- 常に清潔にし、乾燥した明るい場所でご使用ください。
- ご使用時には必ず異常(曲げ・漏れ・破損・ボルトの緩み)がないかチェックしてください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- ご使用時はプレス物が中心に固定されているか確認してください。
- プレスの正面には立たず、周りに人がいない状態でご使用ください。
- 疲労を感じたり、飲酒や薬物を服用している時は使用しないでください。
- プレスの改造は一切行わないでください。
- 定格容量を超えないでください。
- ロッドは出し過ぎないでください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。

■ 製品仕様

重量	約 92kg
能力	20トン
サイズ	高さ 1570×幅 710×奥行 700mm 台座高さ調整 7 段階(118mm 刻み)
シリンダー ストローク	150mm
プレス軸径	約φ40mm
付属品	ハンドル、 プレスプレート 2 個 (* 写真・黒いプレート)
梱包サイズ	1620×210×310mm (木箱:重量 102kg)

SIZE

【単位:約 mm】



※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

■ 製品説明

- 手で簡単操作！メーター付の門型油圧プレス機です。
- シャフトの曲がり修正、芯出し、プッシュ、ベアリングの脱着等にご使用ください。
- ボトルジャッキのシンプル機構なのでメンテナンスが容易。
- 圧力メーター付で、圧力を確認しながら作業出来ます。
- リターン springs で、リリースバルブを緩めるとロッドが自動で戻ります。
- 台座の高さを 118mm 間隔で 7 段階に調節できます。
- プレスプレートは取り外しが可能なので、位置を変えたり取り外す事も可能です。
- お客様での組み立てが必要な商品です。



台座の高さは

7 段階

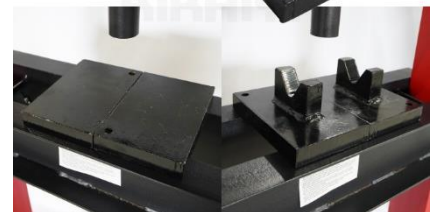
118mm 間隔



【単位:約 mm】

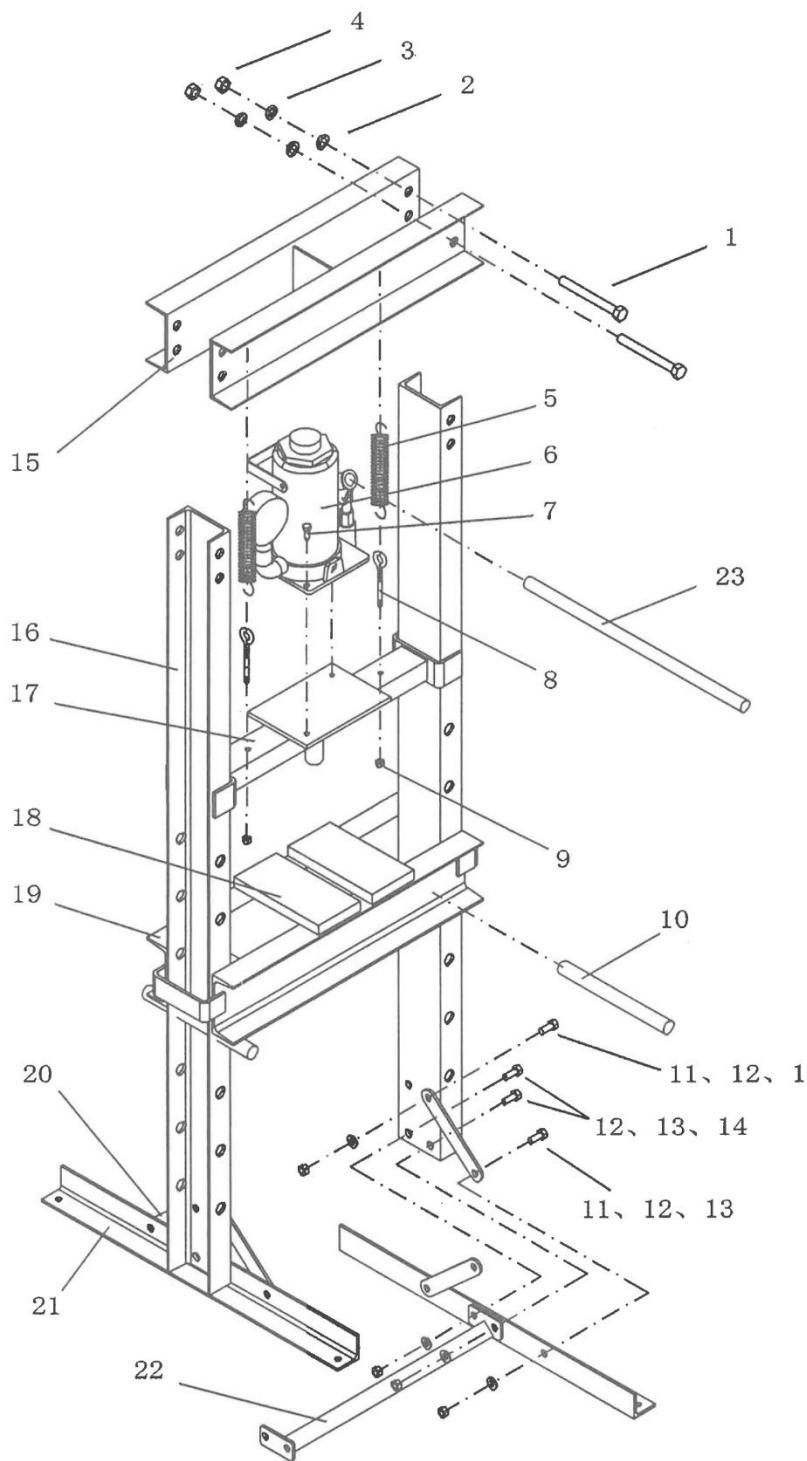
置き方は自由!

プレスプレート付



■ パーツリスト・パーツ名称

番号	名称	個数
1	ボルト M16×140	4
2	φ16 ワッシャー	4
3	φ16 スプリング ワッシャー	4
4	M16 ナット	4
5	スプリング	2
6	ボトルジャッキ	1
7	ボルト M8X20	2
8	M8 アイボルト	2
9	M8 ナット	2
10	サポートピン	2
11	ボルト M10X20	8
12	φ10 ワッシャー	12
13	M10 ナット	12
14	ボルト M10X25	4
15	上部ビーム	1
16	ポスト	2
17	ジャッキベース	1
18	プレスプレート	2
19	台座	1
20	ベースサポート	4
21	ベース	2
22	板	1
23	ハンドル	1



■組み立て上の注意

⚠️ 2人以上で組み立ててください

※ 保護具(安全メガネ/軍手/安全靴等)を装着してください

➤ 圧力メーターについて

※ 圧力オイルが入った状態でお届け致します。

※ 圧力メーター内にオイルが入っている状態が正常です。

(右画像参照)



■組み立て手順 (パーツリストを参考にしてください)

1	<p>本体を箱から取り出し、安定する様に脚部を組みます。</p> <p>※最初は仮組み、後に本締めしてください</p> <p>※組立時にはよく注意して作業してください</p> <p>※17mm スパナをご使用ください</p>	
2	<p>台座をポストに通し、サポートピンを差し込んで置きます。</p>	

<p>3</p>	<p>上部ビームを取り付け、ジャッキベースをポストに嵌めてスプリングとアイボルトで吊るします。</p> <p>※24mm、14 mm スパナをご使用ください</p>	
<p>4</p>	<p>ボトルジャッキについているネジを外してメーターを取り付けます。</p> <p>※19mm スパナをご使用ください</p>	
<p>5</p>	<p>ボルト・ナットを全て本締めし、ボトルジャッキをジャッキベースに乗せて固定して完成。</p> <p>※六角レンチ 6mmをご使用ください</p>	

完成後は全てのボルト・ナットに緩みがないか確認してください

■使用方法

! 使用時は保護具(安全メガネ/軍手/安全靴等)を装着してください

<プレス>

1. レリーズバルブが締まっている事を確認します。
(締まっていない場合は、ハンドルをレリーズバルブにはめて時計回りに回転させます)
2. ハンドルをジャッキ横のハンドル挿し込み口へ挿し込みます。
3. ハンドルを上下にポンピングします。
4. ゆっくりとジャッキベースが下降します。
(1ストローク約1mm)

<解放>

1. ハンドル挿し込み口よりハンドルを抜きます。
2. ジャッキのレリーズバルブにハンドルの切れ込み部分をはめこみます。
3. 反時計回りにゆっくりと回転させるとジャッキベースが上昇します。
(レリーズバルブは回し過ぎると外れる可能性がございますので、半回転程度で調整してください)
4. ハンドルを使用してレリーズバルブを締めます。(時計回りに回転)



レリーズバルブ

※隣の安全弁は回さないでください



ハンドルの切れ込み部分にはめ込み回転させる

<レリーズバルブの回転方向>

■締める=右(時計回り) ■緩める=左(反時計回り)

<エアー抜き>

1. レリーズバルブを緩めた状態でハンドル(ポンプ)を数回(10回程度)動かします。
2. 通常どおりレリーズバルブを閉めてハンドル(ポンプ)を動かします。
上記を2~3回繰り返すとエアーが抜け、シリンダーが動きます。

■メンテナンス・保管について

作動油の給油時はシリンダーを戻した状態で行ってください

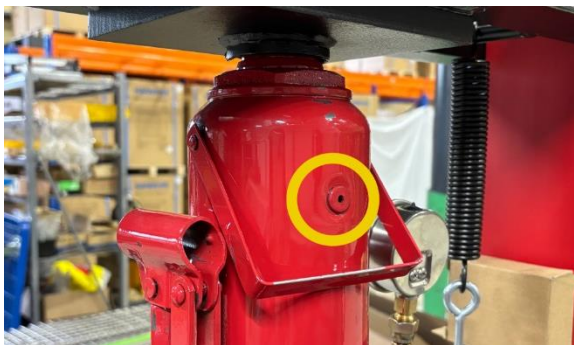
●作動油不足の時はシリンダーを一番下まで戻した状態でオイル注入口を外し、作動油を給油してください。

※作動油は 30 番 (VG32) を推奨。(寒い時期は 20 番 (VG22) 推奨)

※オイルを入れすぎると漏れ出る可能性がありますので、少しずつ給油してください。

※オイル給油量については、ポンプの8分目までになります。

(空気の層が必要になりますので満タンにはしないでください)



お子様手の届かない場所で使用・保管してください



配送状況により、お届け時に油漏れが発生している場合がございます。

恐れ入りますがそのまま一度ご使用いただき、操作確認をお願いいたします。